

断層傾斜角の不確かさを逆方向に考慮した場合の 計算結果について

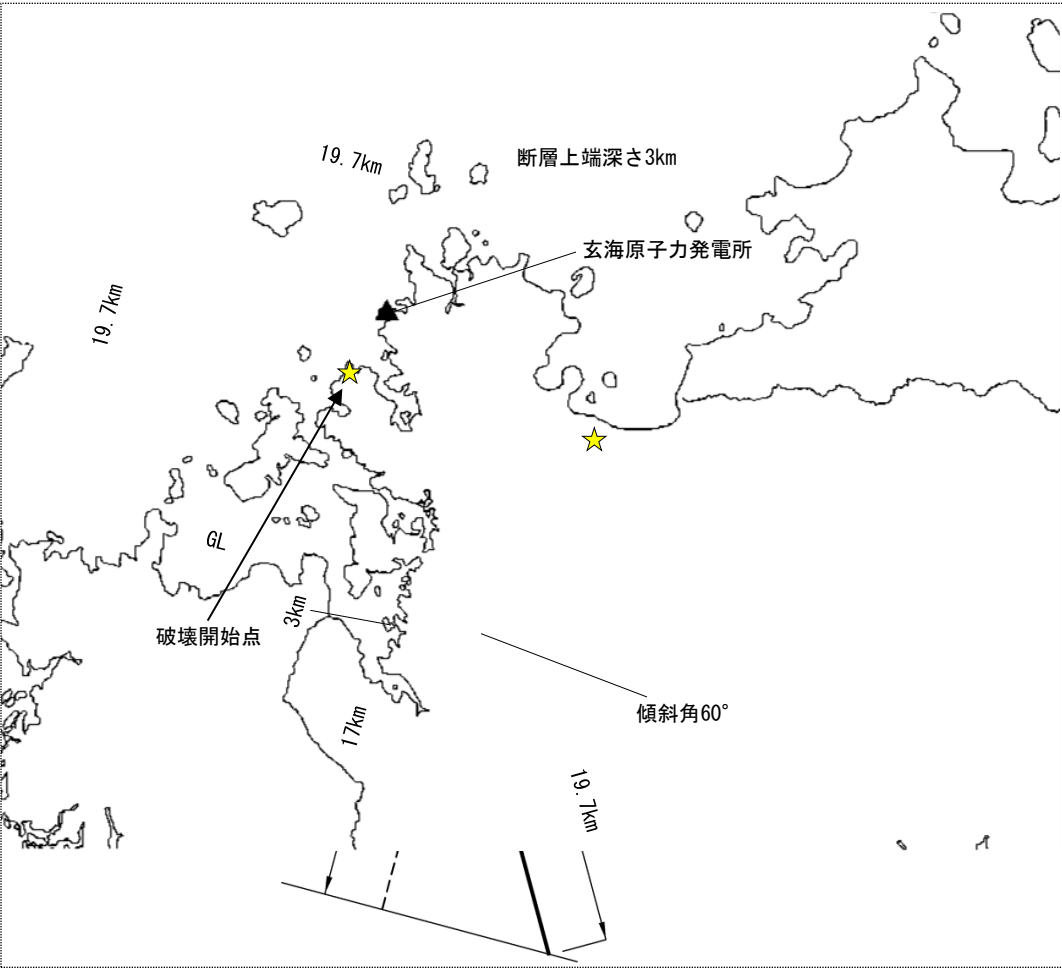
平成29年3月18日

九州電力株式会社

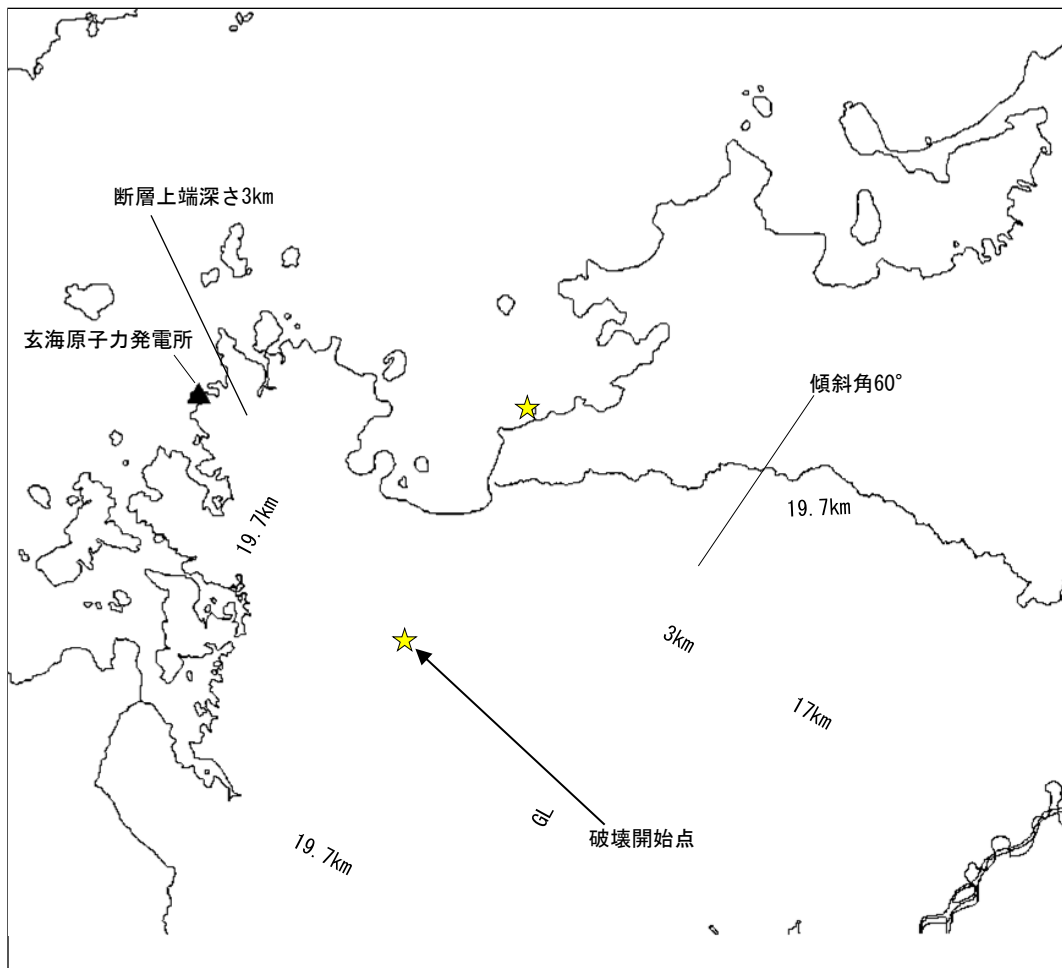
- 竹木場断層と城山南断層における断層傾斜角の不確かさを仮に逆方向に考慮した場合のパルスの確認
 - 新規制基準適合性審査においては、短周期に着目し、敷地に近づく方向の傾斜を不確かさとして考慮していたもの。
 - 参考として、「竹木場断層」と「城山南断層」における断層傾斜角の不確かさを、仮に逆方向に考慮した場合の影響を波数積分法により試算し、パルスのレベルを確認する。
 - 試算地震動の応答スペクトルから、パルス生成の周期帯に違いがあるものの、その大きさはおおむね同等であり、玄海原子力発電所の基準地震動に比べて十分に小さいことを確認した。

断層傾斜角の不確かさを逆方向に考慮した場合の計算結果について

- 断層傾斜角の不確かさを逆方向に考慮した場合の地震動試算条件
 - 震源モデルは、新規規制基準適合性審査に用いたモデルと同じものを使用。
 - ただし、断層傾斜角の不確かさを仮に逆方向に設定。
 - 破壊開始点はアスペリティの下端に設定。



震源モデル図(竹木場断層 東傾斜)



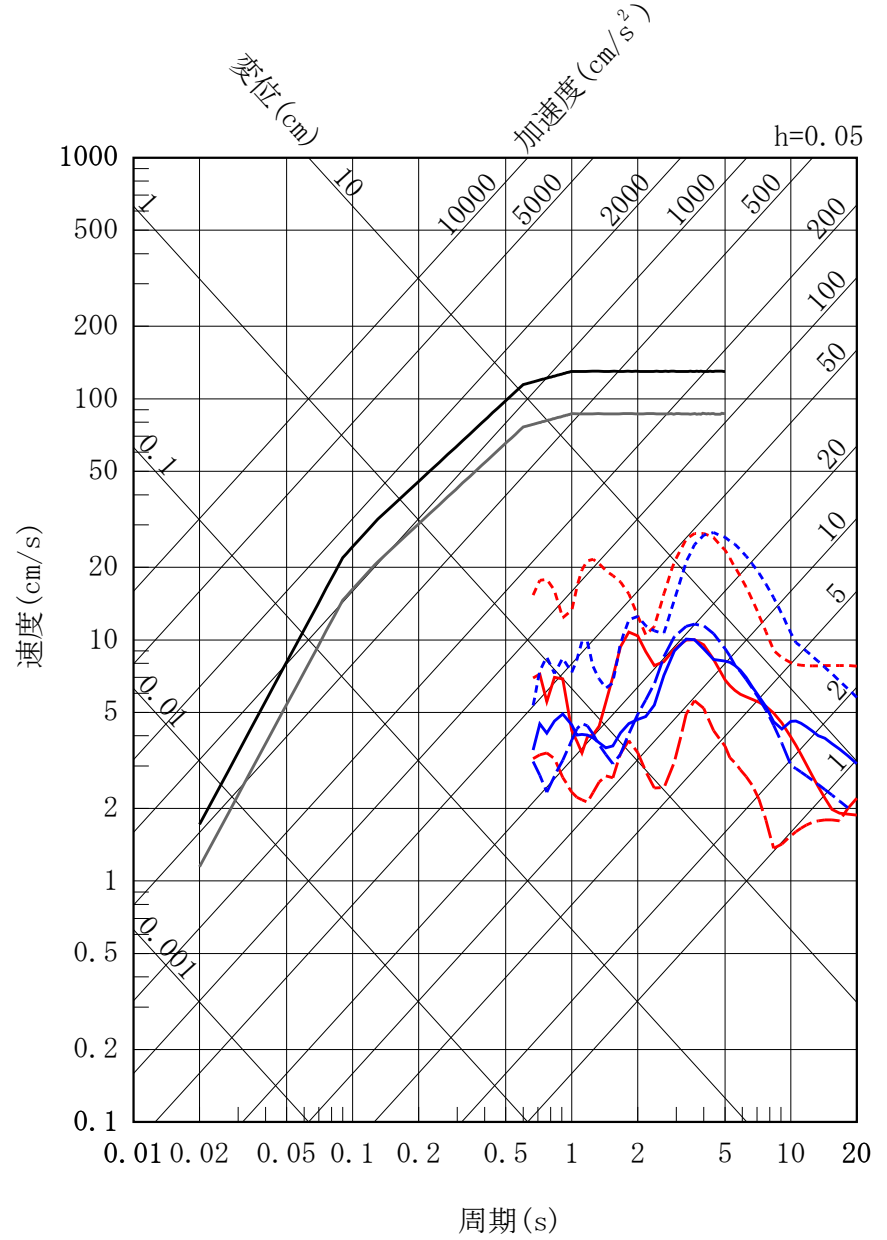
震源モデル図(城山南断層 北傾斜)

断層傾斜角の不確かさを逆方向に考慮した場合の計算結果について

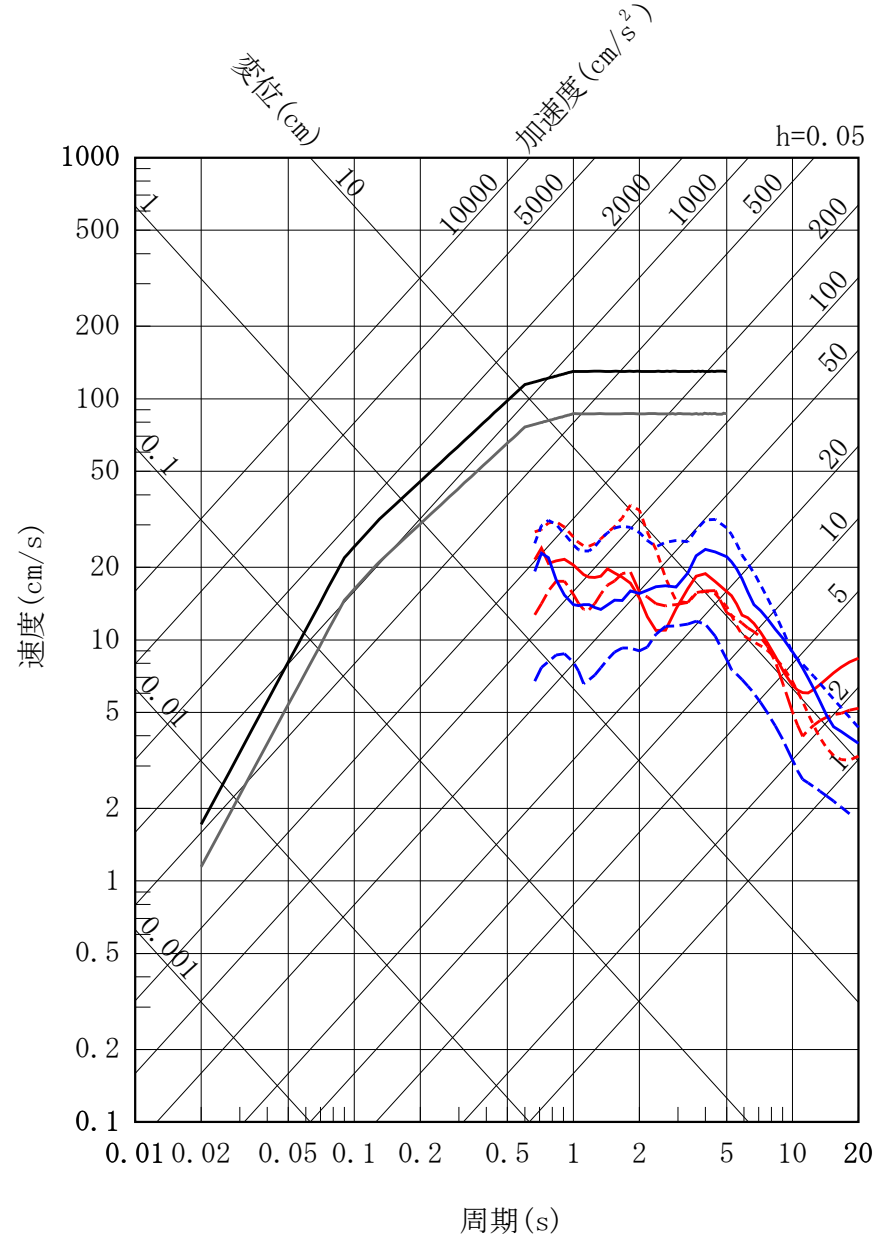
○断層傾斜角の不確かさを逆方向に考慮した場合の地震動試算結果(擬似速度応答スペクトル)

- 基準地震動 Ss-1H — 東傾斜 NS — 西傾斜 NS
- 基準地震動 Ss-1V - - - 東傾斜 EW - - - 西傾斜 EW
- - - 東傾斜 UD - - - 西傾斜 UD

- 基準地震動 Ss-1H — 北傾斜 NS — 南傾斜 NS
- 基準地震動 Ss-1V - - - 北傾斜 EW - - - 南傾斜 EW
- - - 北傾斜 UD - - - 南傾斜 UD



竹木場断層



城山南断層